

せんぱーい

きゅ、

なんで**定年制**
なんて制度が
あるんですか？

どうしたの
やぶからぼうに

走馬灯の
ごとき……

いやあ
今まで高齢者
雇用の理解を
深めるため
とか漫画で
色々やってきた
じゃないですかあ

はい、
ストップ

継続雇用が
どうたらとかいう話も
『定年』という概念に
縛られ続ける
我々現代人の……

きゅ、

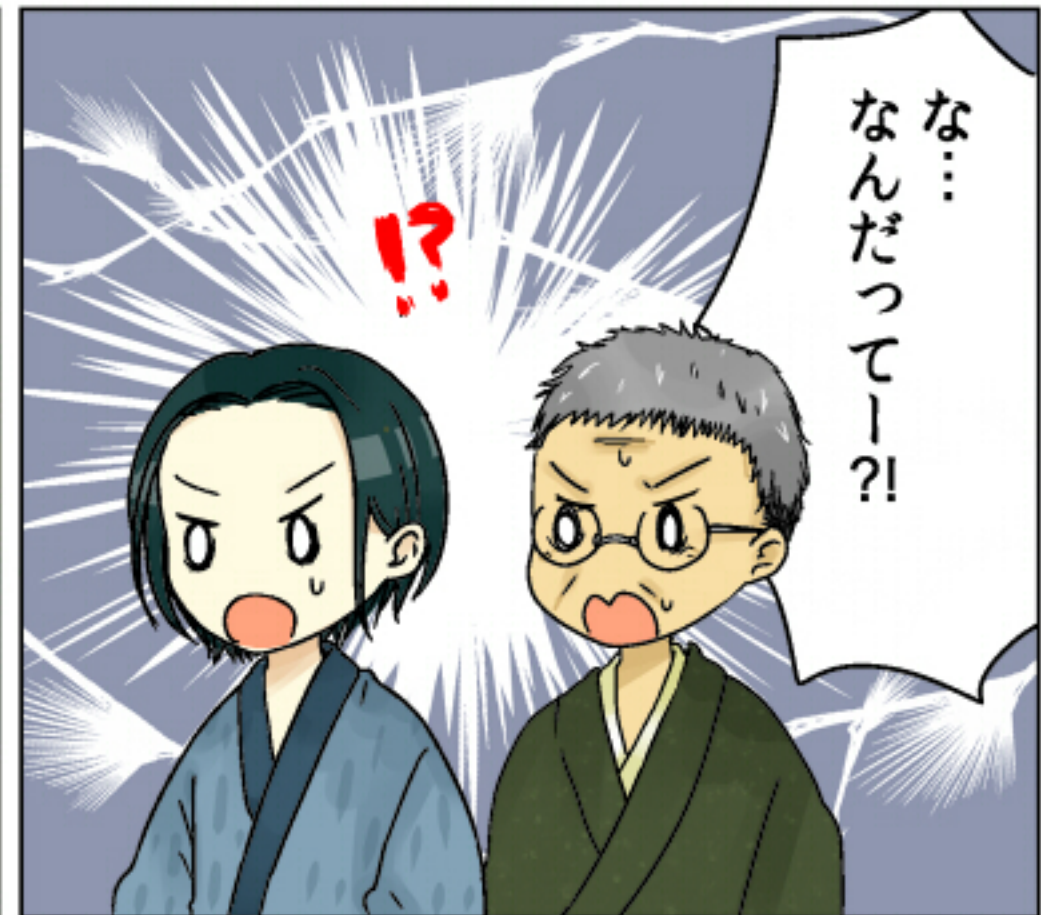
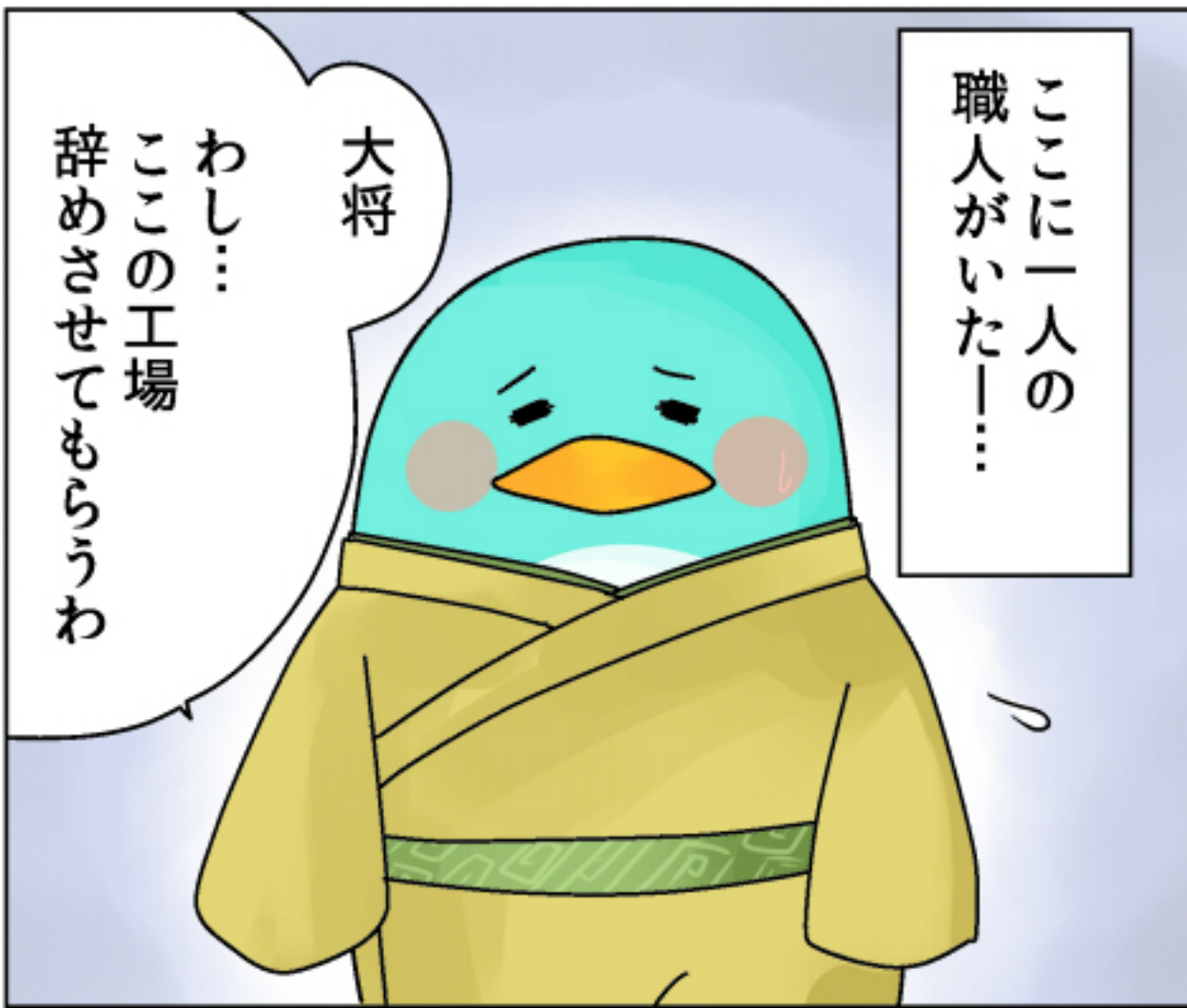
そもそも我々に
『定年』という
概念がなければ
今いる職場の
高齢者との
ギャップや処遇に
悩むことなく
共に働けると思う
んですよね！
なんせ、職場に
高齢者がいることは
「当然」であり
「必然」なのだから！

正義あり！

ではどうして
日本で定年制が
生まれたのか
今の定年制の概念は
どのようにして
作られたのか
歴史の勉強を
しましょう

ね、

あー



まあ世話んなったわ
ほな 元気でな〜

アデューー!!
☆



ちよつ
ペン田さんー?!



工場で働く職人を「職工」と呼びますが
特にこの時代の職工は
『**渡り職工**』と呼ばれていました

「**渡り**」とはひとつの会社に
定着しないこと

なんと年間移動率
驚異の80〜100%!!

職工は**専門的**かつ高い**技術力**を
持っているため
転職してしまう割合が
ものすごく高かったのです



うーん…
ペン田さんも
辞めてしまった…

この間アイバさんが辞めたばかりなのに…

むむ、

職工たちをいかにして
会社に引き留めるかは
企業の課題でした

このままじゃ
全然事業が進まないです!!

ああ、ああ、ああ、

人を動かすもの…
やはり「**金**」だな



一定期間以上働いてくれて
一定以上の年齢に
達した人については
退職時に手当を
出すとしよう

そうすりゃもちっと
長く働いてくれよう...

なるほど

これが(おおよそ)
退職金制度と定年制度の
始まりでした

こうですと働いてたら
辞める時お金もらえるん?

そうそう
だからこうして
長く働いてね

そうやなあ

ちなみに日本で初めて
定年制を実施したのは
海軍火薬製造所だと
いわれています

海軍火薬製造所 職工規定
第二五条 職工八年齢満五五年ヲ停年トシ、
此処ニ至ル者ハ服役ヲ解ク。但満期ニ至ルモ
技業熟練且身体強壯ニシテ其職ニ堪ユル者
ハ、年限ヲ定メ服役ヲ命スルコトアルヘシ

まあなんや『定年制』
つちゆうんは昔は
職工さんに**同じ会社で**
長く働いてもらうため
にできた制度やったんやな

えっへん!



大正時代になると
経済活動の発展に伴い
事業規模が拡大し従業員数が増加、
近代的な人事労務管理制度の整備が
されはじめました

大正3年
(1914年)
東京駅開業



このような従業員の条件変化の中で
『**定年制**』が広く産業全体に
普及していくのでした

みんなやっつてるし
うちの会社も
定年制やるーっ



ザ・日本人

うーん…
うちも千人規模の会社になったし
一人ひとり**個別に管理**するのは
とてもじゃないけど無理だわ…

えーと栄作さんは
50歳定年で退職金か…
米蔵さんは…55歳？
でも継続してもらい
たいし…



もう**制度**として
従業員は**一定の**
年齢に達したことをもって

退職してもらって
定めちやったほうが
楽なんだよねえ

はあ…

いちいち
考えなくて
すむし…



その手が
あつたか！

こうして一律の
年齢によって
退職する
『定年制』が
始まったのです



この頃から
企業による職工の
養成が始まりました



企業は尋常小学校ないし
高等小学校を卒業した
12〜14歳くらいの
若手未経験者を
「**子飼いの職工**」として採用し
自社内で技術の
習得をさせました

彼らに対して**優先的に**
昇給や**昇進**を行う
システムを確立する
ことで長期的な雇用の
継続を促しました

「え、
あんなにない……？
渡り職工……？」

僕は
はえぬきだモーン

またこのシステムは
会社にとって従業員の
忠誠心の育成の目的も
あったようです



ちなみに当時
定年の年齢は50〜55歳が
多かったのですが
その理由はなぜでしょう？

若いな

精工舎の規定には
「**老衰職二堪へス**」と
ありました

50代で……

老……衰……

平均寿命が
45歳前後
ですから……

